

知ろう、つながろう、楽しもう 日本語ボランティア

第 5 回
三島・
伊豆の国

日本語ボランティアを始めるには、続けるには

三島市・伊豆の国市の現状

- 外国人の多様化（ALT・技能実習生・定住者など）
- 日本語教室の数が少ない。（三島市 2、伊豆の国市 1）

三島市・伊豆の国市の解決目標（ビジョン）

- 日本人ボランティアを増やす。
- 日本語教室を増やす。

◎デメリットの解決策を考えましょう。

大人向け

	教室型	マンツーマン型
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間ができる ・他の人が正解した所や間違えた所を参考にできる 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の進度に合わせられる ・希望のテキスト、希望の日時、希望の場所が選択できる
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・休んだら、振り替えしにくい ・個人の進度に合わせにくい 	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間ができてにくい ・自分の理解に偏りがちになる

子ども向け

	学習教室	学校取り出し・放課後
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・学校とは異なる居場所ができる ・異年齢集団のため、交流が生まれやすい ・身近にモデルケースがいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・先生との連携が図れる ・学校生活の中で行える
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の意志に依存されるため、長続きしにくい ・連絡調整が難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・本音を言いにくい ・支援時間に制限がある ・切磋琢磨する機会が少なくなりやすい